

第132回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和8年3月27日（金） 13：30～15：39

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Teams 使用）

出席者 藤澤議長（学長）、
角元委員、坂井委員、佐野委員、高梨委員、伯井委員、宮田委員、
山谷委員、木戸委員、玉置委員、河端委員、奥村委員、松尾委員、
森山委員、荒木委員、柿原委員

（オブザーバー）濱田監事、山上監事、玉岡副学長、向井副学長、黒田副学長、
大川副学長、福本副学長、宮脇副学長、
佐藤人間発達環境学研究科長、金京経済学研究科長、
平山海事科学研究科長、村上医学研究科長

欠席者 齋藤委員、西本委員、久元委員、八木谷委員、喜多委員

議事要録について

第131回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会
として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 国立大学法人神戸大学学則の一部改正について
医学系研究科及びライフ光学イノベーション研究センターを設置すること
に伴い、国立大学法人神戸大学学則を一部改正することについて説明があり、
審議の結果、原案のとおり承認した。
- 2 国立大学法人神戸大学職員給与規程等の一部改正について
人事院勧告に準拠して地域手当の支給割合を改定すること、事務職員の処遇
改善を実施すること並びに高等教育推進機構及び大学院医学系研究科の設置
に伴い規程を整備すること等に伴い、以下の規程等を一部改正することにつ
いて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 1 国立大学法人神戸大学職員給与規程
 - 2 国立大学法人神戸大学年俸制適用職員給与規程
 - 3 国立大学法人神戸大学年俸制適用教員（退職手当支給型）給与規程
 - 4 国立大学法人神戸大学準正規職員就業規則
 - 5 国立大学法人神戸大学特命職員就業規則
 - 6 国立大学法人神戸大学職員の労働時間、休日、休暇等に関する規程
 - 7 国立大学法人神戸大学非常勤職員の労働時間、休日、休暇等に関する規程

3 国立大学法人神戸大学特定有期雇用医療職員就業規則の一部改正について
特定一般職員について新たな職名を追加すること及び大学院医学系研究科の設置に伴い規程を整備することに伴い、国立大学法人神戸大学特定有期雇用医療職員就業規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

4 令和8年度の当初予算編成について
令和8年度の予算編成方針案及び学内予算配分案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 電子ジャーナルや論文投稿の費用はどのようにしているのか参考までに伺いたい。

→ 図書館経費として計上しているものが電子ジャーナルの費用である。全学的に必要性の高いものから購入し、一部は部局で負担している。重要な研究教育基盤であるため、削減は行わない方針としている。
論文投稿料は、オープンアクセスにすることで便宜を図る対応をしているが、全てそのようにすることは難しい。Top10%に値するジャーナルへの投稿費については別枠で研究費として配分している。

○ 予備費の額が縮小されているが、予備費を消化するケースとはどのような事態を想定しているのか。今年度はどのくらい消費されたのか。

→ 予備費については、緊急対応、施設系への対応、新たな事業を開始する際の投資等での支出が想定される。
今年度は予備費をほとんど消化しておらず、予算内に収めている。

○ 戦略的中期事業経費について、令和8年度当初予算案では予算計上されていないが、事業への影響はないとの理解でよいか。

→ 戦略的中期事業経費は、基本的には使用せず目的積立金へ回す経費である。しかし、次年度以降は積立が難しく、当初予算として計上できない状況である。事業推進自体には特段影響はない。

○ 成果指標に基づき配分しているが、セグメントを部局まで分けて収支の実績を見せていただくと更に分かりやすい。

→ 戦略的事業経費等については、セグメントに分けて配分できているが、既定経費については積算方法について検討が必要である。

5 2026年度病院経営計画について
2026年度病院経営計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 全国の国立大学附属病院の中でも最高に近い成績を上げられている。職員の疲弊と医療安全が懸念されるが状況はどうか。医療事故の件数は指標として押さえておいたほうがよい。

→ 現場からの疲弊の声は確認されておらず、意識改革が進んだことが良い方向に作用していると考えられる。医療事故の増加はない。医師からのインシデント報告をしっかりと行うよう指導するとともに、医療安全第一であることを日々会議で伝えている。

○ 医薬収益に占める材料比率について、全国平均と比較すると、医薬品比率は低く、診療材料比率は高いが、治療方針等に起因するものなのか。

→ 本学ではバイオシミラーやジェネリック製剤への切替を早期に実施し、その比率が高いため医薬品費を削減できている。一方で、診療材料費については、在庫管理に課題があり、不要なコストが生じている状況がある。来年度の秋から外部のSPDを導入することで材料費を削減できる見込みである。

6 令和9年度施設整備費等概算要求事項について

文部科学省の整備の方向性等を踏まえ、全学的視点に立った令和9年度施設整備費等概算要求事項一覧を要求事業候補とすることについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

7 令和8年度学内営繕・環境対策事業等の実施について

2026年度（令和8年度）学内営繕要求事項一覧を実施事業候補とすることについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

8 KU VISION 2030の更新について

本学の教育・研究の目指すべき姿や取組等を広く分かりやすくステークホルダーに示し、本学の掲げる長期ビジョンを実現していくために、第4期中期目標期間を含めた2030年に向けた「KU VISION 2030」を更新することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 留学生特例認定制度への取り組みについて伺いたい。

→ 留学生については30%という目標を掲げているが、本学では学部の留学生が少ないため、入試のあり方等、留学生の受け入れ態勢について検討することを考えている。

○ 資料の中で、工学部からのメッセージ「ものづくり、ことづくり、そしてずっと続くしあわせづくり」が目についた。このような柔らかな表現は神戸大学全体に必要なことである。

9 学長選考・監察会議学外委員の選出について

学長選考・監察会議学外委員の選出について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

10 役員の退職手当（業績勘案率）について

令和8年3月に退任する理事について、令和3年4月から令和8年3月までの5年間の理事としての業績を踏まえ、役員在職期間における退職手当の業績勘案率について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

- 1 インフラ長寿命化計画のフォローアップについて
神戸大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画）第4期中期目標期間アクションプランにかかるフォローアップについて報告があった。
 - 2 豊岡市との包括連携協定締結について
相互の包括的かつ持続的な連携と協力により、地域の課題に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与することを目的として、豊岡市との包括連携に関する協定を締結したことについて報告があった。
 - 2-2 尼崎市との包括連携協定締結について
学術的知見と経営的知見を融合し、地域産業の高度化や新産業の創出を促進し、地域の発展と住民生活の質の向上及び双方のブランド価値の向上を図ることを目的として、尼崎市との包括連携に関する協定を締結したことについて報告があった。
 - 2-3 尼崎信用金庫との包括連携協定締結について
相互に円滑かつ効率的な連携及び協力をする中で、地域における産業の高度化と新事業の創出を促進し、地域産業の活性化を目指すことを目的として、尼崎信用金庫との包括連携に関する協定を締結したことについて報告があった。
 - 3 大学・高専機能強化支援事業の追加支援について
大学・高専機能強化支援事業（事業計画名：神戸大学システム情報学カレッジ構想による高度情報専門人材の育成）の追加支援が採択されたことについて報告があった。
 - 4 大学病院機能強化推進事業（経営環境の改善に資する教育研究基盤の充実）の採択について
大学病院機能強化推進事業（経営環境の改善に資する教育研究基盤の充実）が採択されたことについて報告があった。
 - 本件は、資料4の令和8年度当初予算案とは枠外での資金交付という理解でよいか。別途、県からの補助金も枠外とのことで、予算案外で多くの額が機能の充実および人件費に充当されるという理解でよいか。また、本事業は単年度のものか。
 - 本事業は予算案の枠外であり、遠隔ICUシステムの導入および導入に伴い必要な人材の育成、教育に使う予定である。システム導入により、県と連携し、病院の運営を強化していく。本事業は令和8年度中に使う単年度のものである。
- ◎ 次回は、令和8年6月26日に開催予定。